

MISSIONONE

make the dive simple



1. 基本操作	3
1.1. 安全なダイビングのために	3
1.2. 操作	4
1.3. 電源オン/電源オフ	4
1.4. 充電	4
1.5. アプリによるペアリング	5
1.6. ペアリングの解除	5
1.7. プッシュ通知	6
1.8. ダイブログの同期	6
1.9. ファームウェアの更新	6
2. ウォッチモード	8
2.1. 飛行機搭乗禁止時間及び水面休息时间	8
2.2. ストップウォッチ	8
2.3. ダイブモードへの自動切換	8
2.4 日の出と日没時間	9
3. スクーバダイビングモード	9
3.1. ダイブモードの画面とアラーム	9

3.2. ナイトロックス NITROX	13
3.3. 潜水計画	13
3.4. セーフティーファクター（保守性）	14
3.5. 詳細設定	14
4. フリーダイビングモード	15
4.1. 画面とアラーム	16
4.2. 時間アラーム	18
4.3. 深度アラーム	18
4.4. ストップウォッチ	18
4.5. 詳細設定	18
5. ゲージダイビング	19
5.1. 画面とアラーム	20
5.2. ボトムタイマー機能	22
5.3. 詳細設定	22
6. GPS とコンパス	23
6.1. 使用手順	23
6.2. エントリーとエキジットポイントの記録	24

6.3. ダイブポイント機能	24
6.4. コンパスの補正	24
7. メンテナンス及び保証	25
7.1. 保護フィルム	25
7.2. ストラップ	25
7.3. メンテナンスと保管	25
7.4. アフターサービスと保証	25
7.5. 製品仕様	27

1. 基本操作

1.1. 安全なダイビングのために

- どのようなダイビング器材も故障または破損する可能性があり、ダイブコンピューターのバグが起こる可能性はゼロではありません。

MISSION ONE のみを頼りにせず、ダイビングの前には詳細な計画を立てなければなりません。

- ダイビングには危険が伴います。適切な訓練を行った上でライセンスを取得し、MISSION ONE を使ってご自身のライセンスレベルを超えた、ダイビングをしないでください。
- MISSION ONE は潜水業務において使用するよう設計されていません。潜水業務には使用しないでください。
- 減圧計算の基礎は浮上速度が安全速度を超えない（10m/分）というものであり、これを超えないようにしてください。急激な浮上は減圧症を発症する可能性を大幅に高めます。
- MISSION ONE が指示する減圧停止を行ってください。従わない場合は減圧症の発症の可能性が

大幅に上昇し、重いケガや最悪の場合死亡する恐れがあります。

- MISSION ONE はすべての精密機器と同様に投げつけたり、ぶつけたり、強い力をかけたりしないでください。直射日光に当たる場所や、日光にさらされる車両の中に置かないでください。
- サウナや温泉などで使用しないでください。
- ダイビングの後は真水で洗浄してください。ボタン及びセンサーの破損を防ぐため、高圧洗浄機は使用しないでください。本体等の汚れがひどい時は真水の中につけ置きしてください。溶剤あるいは洗浄剤を使用しないでください。
- 付属のディスプレイ保護フィルムをご使用ください。交換が必要な際は正規販売店でご購入ください。

1.2. 操作



1.3. 電源オン/電源オフ

電源オン: D ボタンを 3 秒長押しするか、または MISSION ONE を充電ケーブルに接続します。

電源オフ: 時計画面で D ボタンを 3 秒長押しします。

1.4. 充電

充電を行う場所が乾燥していることを確認してください。水分と汚れは充電効率に大きく影響すると共に、破損をもたらす可能性があります。安全認証を取得して

いる変圧器（定格電圧：DC5V/2A）を使用し、充電完了まで2時間必要となります。

1.5. アプリによるペアリング

ATMOS アプリとペアリングすることでダイブログが転送できます。

1. ATMOS アプリのダウンロード：

iOS:

<https://apple.co/31ouXTE>



Android:

<http://bit.ly/2WAfdNL>



2. アプリにログイン後、「あなたのデバイス」をタップして「ペアリングの開始」を選びます。

※必ずスマートフォンの Bluetooth を起動させてください。Android システムでは位置情報取得の許可が必要となります。

- MISSION ONE メニュー → 設定 → スマート接続 → スマホへの接続：オン。
- アプリが MISSION ONE を選択した後、MISSION ONE に表示される 6 桁の数字のペアリングコードを入力して完了です。

1.6. ペアリングの解除

- MISSION ONE：設定 → スマート接続 → ペアリングの解除 → はい
- ATMOS：ペアリングした MISSION ONE を左にスワイプします。
- スマートフォン：Bluetooth 接続デバイス → このデバイスを消去する。

1.7. プッシュ通知

プッシュ通知機能は MISSION ONE とマッチングされたスマートフォンのプッシュ通知を MISSION ONE に送信するものです。(iOS 10 以上, Android)

プッシュ通知機能を使用したい場合、MISSION ONE において設定する必要があります：
設定 → スマート接続 → プッシュ通知 → オン。

※電話着信のみに設定している場合、MISSION ONE は電話とショートメッセージのみを通知します。

1.8. ダイブログの同期

MISSION ONE のダイブログを ATMOS アプリに転送できます。

- アプリ内の「あなたのデバイス」で、すでにマッチングされている MISSION ONE 右側の同期ボタンをタップすれば同期を開始します。

※インターネットに接続時にのみ同期できます。インターネットへ接続しているかをご確認ください。

1.9. ファームウェアの更新

ATMOS では不定期にファームウェアのバージョンを更新しています。新しいバージョンのファームウェアでは機能の修正と最適化が行われていますので、MISSION ONE のファームウェアを常に最新バージョンにしてください。

※インターネットに接続時のみ更新できます。インターネットへ接続しているかをご確認ください。

※Bluetooth 接続で使用する 2.4Ghz 周波数帯は日常生活におけるその他の無線装置(インター

ネット、電話..等)と同じであるため、環境による妨害が容易に生じ、更新後の表示が不正確になることがあります。このような状態が発生した場合、コンピューターを使用して更新することで解決します。

ファームウェアの更新方法

1. コンピューターを使用する (推薦) :

- a. <https://www.atmos.app/support/> でお客様の OS に対応する Firmware Update Program (ファームウェア更新ソフト) をダウンロードしてください (PC/MAC)
- b. ダウンロード完了後、ファームウェアの更新ソフトが実行されます。
- c. MISSION ONE と充電ケーブルが接続されると、MISSION ONE に充電マークが表示されます。
- d. Firmware Update ボタンを押すと、最新バージョンのファームウェアをダウンロ

ードすると共に MISSION ONE が更新されます。

- e. 更新が問題なく終了した場合 MISSION ONE は自動的に再起動し、最新のファームウェアを実行します。

2. ATMOS アプリを使用する :

- a. ATMOS アプリにおいて、マッチングされている MISSION ONE をタップするとデバイス情報画面に切り換わります。
- b. 新しいバージョンのファームウェアがある場合、ファームウェア更新のボタンが表示されます。
- c. ファームウェアの更新をタップします。
- d. 更新が問題なく終了した場合 MISSION ONE は自動的に再起動し、最新のファームウェアを実行します。

2. ウォッチモード

2.1. 飛行機搭乗禁止時間及び水面休息时间

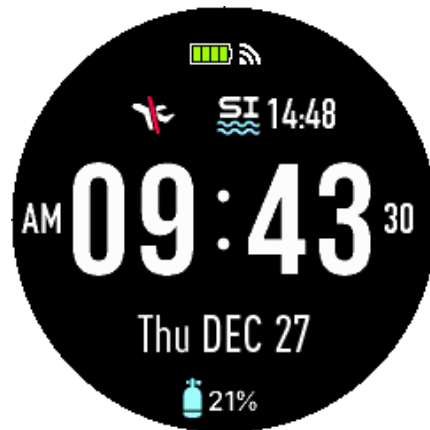
※潜水後の体には窒素が残っています。気圧の変化による減圧症の発症を防ぐため、必ず搭乗禁止時間が過ぎた後に飛行機へ搭乗してください。

※海拔 300m/1000ft 以上の処へ行かないようにしてください。

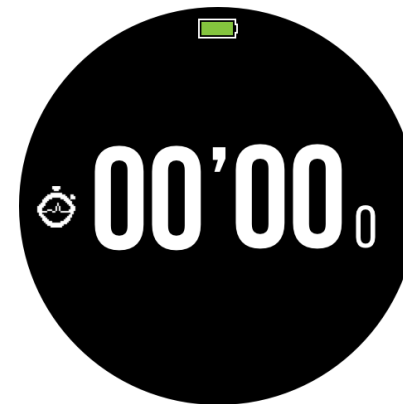
※左上：飛行機搭乗
禁止マーク - 潜水終了後 24 時間の間カウントダウンします

※右上：水面休息时间(S.I.) - 潜水終了後からカウントを開始します

※下：設定した自動切換（デフォルト）のモード - 初期設定はダイブモード



2.2. ストップウォッチ



時間画面で C ボタンを長押しするとストップウォッチに切り替わります

- ▶ B ボタンを押す：起動
- ▶ もう一度 B ボタンを押す：現在時刻を記録する
- ▶ A ボタンを押す：停止
- ▶ 一時停止の時に B ボタンを押す：0 に戻る
- ▶ C ボタンを長押しする：ストップウォッチが終了

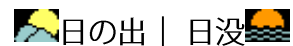
2.3. ダイブモードへの自動切換

入水時に自動切換えされる初期設定のモードが「ダイブモード」となっており、メニュー→設定→デフォルト

トモードで変更ができます。どのモードの画面で潜水を行っても潜降時には設定したモードへ切り換ります。

!!! ダイビングモードへの自動切換に頼らないでください。潜水を行う前には設定およびダイブコンピューターが正常に作動しているか確認してください。

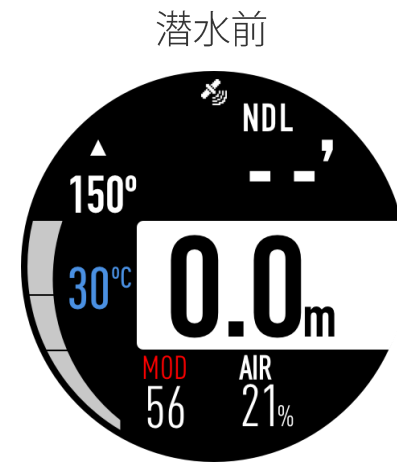
2.4 日の出と日没時間



GPS での位置情報設定の終了後、時間画面において C ボタンを押すと最後にダイビングした日付、第二時間帯と日の出・日没時刻が表示されます。GPS による位置情報の設定の仕方は 6. GPS とコンパスをご参照ください

3. スクーバダイビングモード

3.1. ダイブモードの画面とアラーム



左上：コンパス方位

左：浮上速度インジケーター

左中：温度

右上：無減圧潜水時間 NDL

(NDL が 99 以上の場合--と表示されます)

右中：現在の

右下：最大行動深度 MOD -
(Maximum Operation Depth)

右下：21% = 空気 AIR / 22-40% =
ナイトロックス NITROX

※B ボタンを押すと詳細設定に切り換わります

潜水時



左上：コンパス方位

左 1：浮上速度インジケータ(赤
=早すぎる)

左 2：速度(m/分) | 温度

右上：無減圧潜水時間 ND

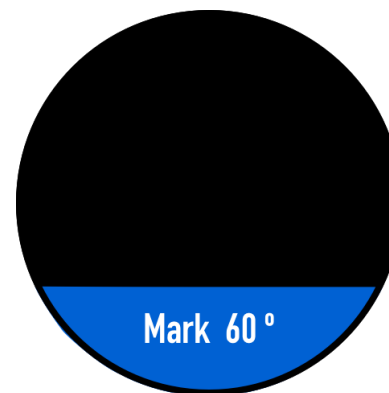
右中：

右下：潜水経過時間

※C ボタンを押すと現在時刻/最大
深度/平均深度を見ることができ
ます

※D ボタンを押すとバックライト
のオン/オフができ、D ボタンを
長押しするとバックライトの明る
さを調整できます

コンパス方位の固定

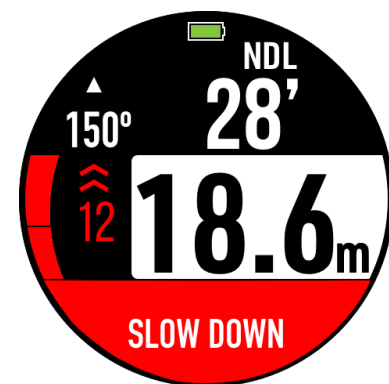


ダイブモードでB ボタンを長押し
するとコンパス方位の固定に切り
換わります

A ボタンを押す：方位を固定する
C ボタンを押す：固定を解除する
B ボタンを押す：終了

※付近にある妨害を与える物の影
響を受けますので、ダイビングの
前に電子コンパスを補正してくだ
さい

浮上速度違反



浮上速度が 10m/分を超えた場
合、浮上速度インジケータが赤
に変わり、5 秒経過した場合
MISSION ONE のディスプレイ上
に「SLOW DOWN」と表示され、
アラームが鳴ると同時にバイブレ
ーションが作動します。

時間アラーム



設定した潜水時間に達するとディスプレイ上に「TIME ALARM」と表示され、アラームが鳴ると同時にバイブレーションが作動します。

深度アラーム



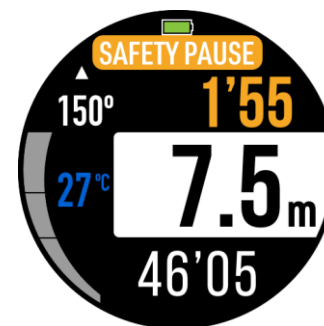
設定した深度に達するとディスプレイ上に「DEPTH ALARM」と表示され、アラームが鳴ると同時にバイブレーションが作動します。浮上しない場合1分おきに再度この表示が繰り返します。

安全停止



潜水中の最大が 10m を超えた場合で 6m まで浮上した際、ディスプレイ上に「SAFETY STOP」と表示され、アラームが鳴ると同時にバイブレーションが作動します。安全停止を行ってください。またカウントダウンを3分間行います。

安全停止の一時停止



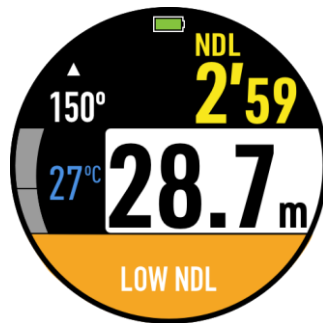
安全停止の深度の範囲は 3-7m であり、これを超えた場合はカウントダウンが停止されディスプレイ上に「SAFETY PAUSE」と表示され、アラームが鳴ると同時にバイブレーションが作動します。

安全停止の完了



カウントダウン終了後ディスプレイ上に「SAFETY CLEAR」と表示され通知します。

NDL が 3 分未満



NDL が 3 分未満の際、ディスプレイ上に 1 分ごとに「LOW NDL」と表示され、アラームが鳴ると同時にバイブレーションが作動します。

減圧状態の開始

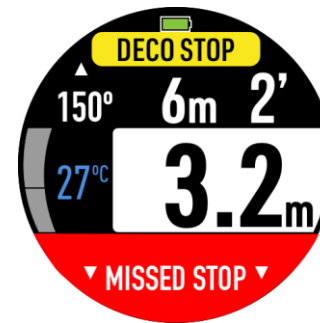


NDL を超えると減圧状態となり、MISSION ONE のディスプレイ上に「DECO NEEDED」と表示され、アラームを鳴ると同時にバイブレーションが作動します。

NDL が表示されていた箇所に「DECO STOP」と表示されると共に減圧を行う深度 (6m)、及び減圧停止時間 (3 分) が表示されます。

この深度近くまでゆっくりと浮上して減圧停止を行ってください。

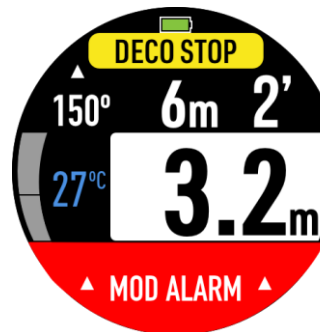
減圧停止の深度を超過



減圧停止の深度以上となった場合ディスプレイ上に「MISSED STOP」と表示され、アラームが鳴ると同時にバイブレーションが作動します。

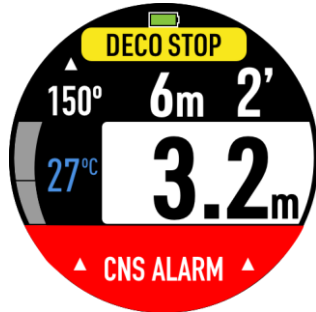
減圧停止の深度範囲まで潜降して引き続き減圧してください。

MOD 最大行動深度



深度が最大行動深度 (MOD) に達した際はディスプレイ上に「MOD ALARM」と表示され、アラームが連続で鳴ると同時に画面とバイブレーションが作動します。すぐに浮上してください。

CNS 酸素中毒



CNS（酸素中毒）が累計 85%になった場合ディスプレイ上に「CNS ALARM」と表示され、アラームが連続で鳴ると同時に画面とバイブレーションが作動します。すぐに浮上してください。

バッテリー残量低下



バッテリー残量が 20%以下の場合、5%ごとに 1 度アラームが鳴ると同時に画面とバイブレーションが作動します。

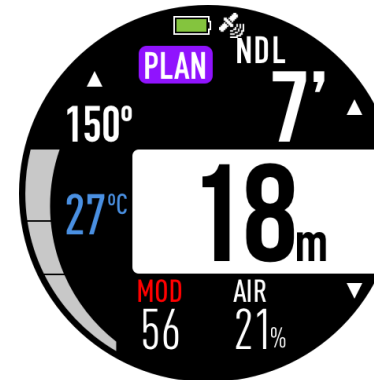
3.2. ナイトロックス NITROX

ダイブモードの標準画面において B ボタンを押すと詳細設定に切り換わり、酸素比率を選択してナイトロックスを使用する際の比率（21-40%）設定することができます。酸素分圧（PPO2）の調整範囲は 1.2-1.6 です。

!!! 潜降前にご使用になる「酸素比率」及び「最大行動深度（MOD）」をご確認になり、酸素中毒（CNS）にならないようにしてください。

3.3. 潜水計画

ダイブモードの標準画面において B ボタンを押すと詳細設定中のダイブプランに切り換えられます。



A・C ボタンを押すと、計画深度を調整できます。現在の残留窒素量からその深度での無限圧潜水時間（NDL）を推算します。

3.4. セーフティーファクター（保守性）

ダイブモードの標準画面において B ボタンを押すと詳細設定に切り換わり保守性を調整できます。

!!! セーフティーファクターについてよく確認してから変更を行ってください。分からない場合は設定を変更しないでください。

保守性	保守性：高い (GF 35/75) 保守性：通常 (GF 40/85) 保守性：低い (GF 45/95) 保守性：カスタム GF（グラディエントファクター）の調整による減圧アルゴリズムの保守性への影響は、エリック・ベイカー（Clearing up the Confusion About Deep Stops）を参照してください。英語のみ。
-----	---

3.5. 詳細設定

ダイブモードの標準画面において B ボタンを押すと詳細設定に切り換わります。

!!! 調整する設定の影響を理解したことを確認してください。分からない場合は設定を変更しないでください。

調整可能な機能：

セーフティーファクター	(3.4 保守性を参照)
エンリッチド・エア/ナイトロックス設定	(3.2 ナイトロックスの設定を参照)
潜水計画	(3.3 潜水計画を参照)
淡水/海水	淡水か海水かに応じて深度の修正をします

	淡水と海水とでは濃度が約 3%違います。海水は濃度が増すほど、淡水の設定と比べて、同様に計測された圧力の深度よりも浅く表示されます。
圧力センサー	設定した深度まで潜降するとダイブモードに切り換わります。
ダイブタイムアウト	水面に上がってから現在のダイブ記録を終了するまでの間の時間を設定します。短い休憩時間を挟んだ複数のダイビングを、一回のダイビングとして記録したい場合には、長めの時間を設定してください。
時間アラーム	設定された潜水終了時間になった場合アラームが鳴ります。
深度アラーム	設定した深度に達した場合アラームが鳴ります。

ダイブポイント	(6.3 ダイビングポイント機能を参照)
---------	----------------------

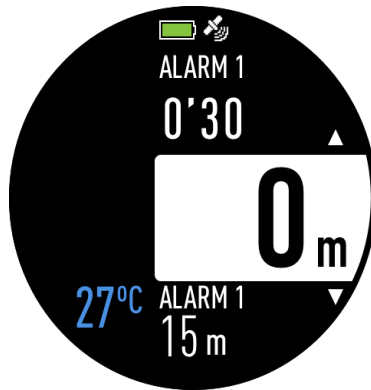
4. フリーダイビングモード

フリーダイビングモードでは 10 セットの深度と 10 セットの時間アラームを設定可能、またストップウォッチ機能も備えています。

!!!潜水後には体内に窒素が残留しています。飛行機搭乗禁止時間が終了するまでフリーダイビングは行わないでください。

4.1. 画面とアラーム

潜降標準画面



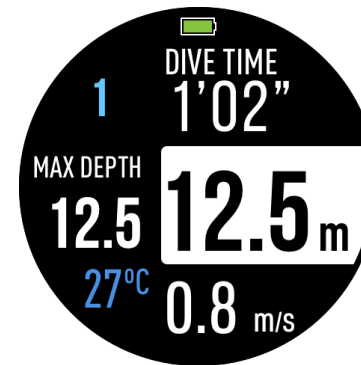
A ボタンを押すと設定された
10 セットの時間アラームをチ
ェックできます。

C ボタンを押すと設定された
10 セットのアラームをチェッ
クできます。

※B ボタンを押すと詳細設定
に切り換わります。

※C ボタンを長押しするとス
トップウォッチに切り換わり
ます。

潜水時



左上：潜水回数

左中：最大

左下：温度

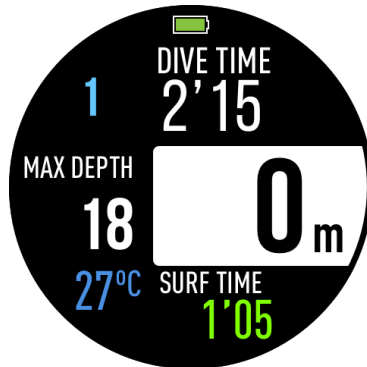
右上：潜水時間

右中：深度

右下：速度

※D ボタンを押すとバックラ
イトがオン/オフとなり、長押
しすると明るさを調整できま
す。

水面休息時



左上：現在の連続潜水回数を表示

左中：前回の潜水での最大

右上：前回の潜水時間

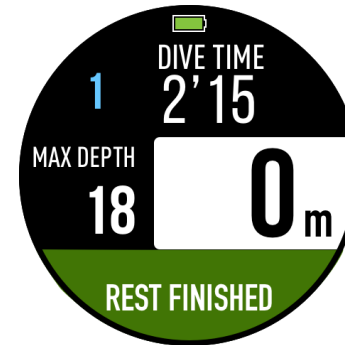
右下：一定の海面まで浮上後、水面休息時間を計算します

※A ボタンを押すと時計に切り換わります。

※D ボタンを押すとバックライトがオン/オフとなり、長押しすると明るさを調整できます。

※C ボタンを長押しするとストップウォッチに切り換わります。

水面休息完了



水面休息時間が潜水時間の2倍の時間になると「REST FINISHED」のアラームが鳴ります。

時間アラーム



設定された潜水時間になると「TIME ALARM」アラームが鳴ります。

- 合計 10 セット設定できます。

深度アラーム



潜降時、設定した深度に達すると「DEPTH ALARM」アラームが鳴ります。

- 合計 10 セット設定できます。

バッテリー残量低下

BATTERY LOW

バッテリー残量が 20%以下の場合、5%ごとに 1 度アラームが鳴ります。

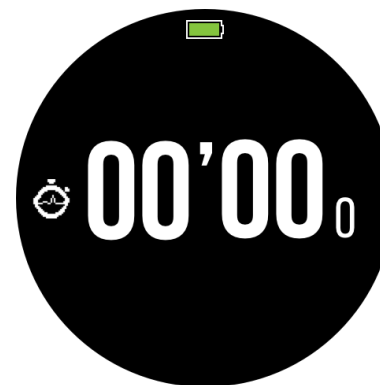
4.2. 時間アラーム

フリーダイビングの標準画面において B ボタンを押すと詳細設定に切り換わり、10 セットの時間アラームを設定できます。

4.3. 深度アラーム

フリーダイビングの標準画面において B ボタンを押すと詳細設定に切り換わり、10 セットの深度アラームを設定できます。

4.4. ストップウォッチ



ウォッチモード及びフリーダイビングモード時に C ボタンを長押しするとストップウォッチに切り換わります

- ▶ B ボタンを押す：起動
- ▶ もう一度 B ボタンを押す：現在時刻を記録する
- ▶ A ボタンを押す：停止
- ▶ 一時停止の時に B ボタンを押す：0 に戻る
- ▶ C ボタンを長押しする：ストップウォッチが終了

4.5. 詳細設定

フリーダイビングモードにおいて B ボタンを押すと詳細設定に切り換わります。

!!! 調整する設定の影響を理解したことを確認してください。分からない場合は設定を変更しないでください。

詳細設定で変更できる機能：

淡水/海水	淡水か海水かに応じて深度の修正をします。 淡水と海水とでは濃度が約 3% 違います。海水は濃度が増すほど、淡水の設定と比べて、同様に計測された圧力の深度よりも浅く表示されます。
圧力センサー	潜降時にこの深度になるとダイビングモードに切り換わります。
ダイブタイムアウト	水面に上がってから現在のダイブ記録を終了するまでの間の時間を設定します。

時間アラーム	(4.2 時間アラームを参照)
深度アラーム	(4.3 深度アラームを参照)
ダイビングポイント	(6.3 ダイビングポイント機能を参照)

5. ゲージダイビング

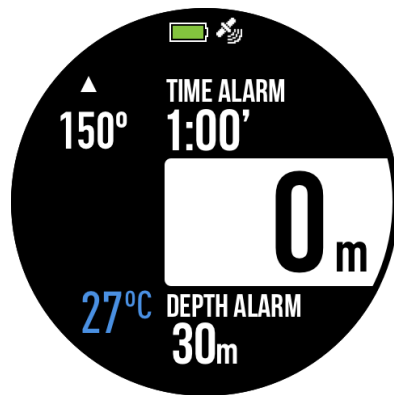
ゲージダイビングモードでは減圧計算を行わず、深度、時間、水温、浮上速度のみを表示し、深度計及びボトムタイマー機能を備えています。

!!! ゲージモードでダイビングを行った後は安全のため、スクーバダイビングモードは 24 時間ロックされます。この時間内にスクーバダイビングで潜降するとゲージモードのみの表示となります。24 時間間隔を置いてからスクーバダイビングを行ってください。

!!! 設定→システム→窒素リセットで解除できます。

5.1. 画面とアラーム

ゲージモード標準画面



左上：コンパス方位
左下：温度
右上：設定された時間
アラーム
右中：深度
右下：設定された深度
アラーム

※B ボタンを押すと詳細設定に切り換わります。

潜水時

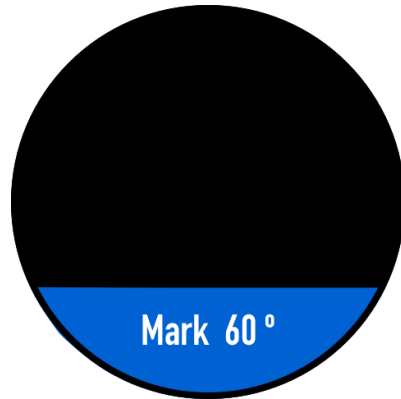


左上：コンパス方位
左中：最大
左下：温度
右上：潜水時間
右中：深度
右下: タイマー

※C ボタンを押すとボトムタイマーを使用して計測時間を再設定できます。

※潜水時に D ボタンを押すとバックライトがオン/オフとなり、長押しすると明るさを調整できます。

コンパス方位の固定



「標準画面」で B ボタンを
長押しするとコンパス方位
設定に切り換わります

A ボタンを押す：方位を固
定する

C ボタンを押す：固定を解
除する

B ボタンを押す：切り替え

※付近にある干渉を与える
物の影響を受けますので、
ダイビングの前に電子コン
パスを調整してください。

時間アラーム



設定された潜水時間になる
と「TIME ALARM」アラ
ームが鳴ります。

深度アラーム



潜水時に設定した深度に達
した場合「DEPTH ALARM」
アラームを鳴らします

バッテリー残量低下



バッテリー残量が 20%以下
の場合、5%ごとに 1 度ア
ラームが鳴ります。

5.2. ボトムタイマー機能

潜水時に C ボタンを押すとボトムタイマーによる計測を行います

5.3. 詳細設定

ストップウォッチ標準画面において B ボタンを押すと詳細設定に切り換わります。

!!! 調整する設定の影響を理解したことを確認してください。分からない場合は設定を変更しないでください。

詳細設定で変更できる機能：

淡水/海水	淡水か海水かに応じて深度の修正をします。 淡水と海水とでは濃度が約 3% 違います。海水は濃度が増すほど、淡水の設定と比べて、同様に計測された
-------	--

	圧力の深度よりも浅く表示されます。
圧力センサー	設定した深度まで潜降するとダイビングモードに切り換わります。
ダイブタイムアウト	水面に上がってから現在のダイブ記録を終了するまでの間の時間を設定します。短い休憩時間を挟んだ複数のダイビングを、一回のダイビングとして記録したい場合には、長めの時間を設定してください。
時間アラーム	設定された潜水終了時間になった場合「TIME ALARM」アラームを鳴らします。
深度アラーム	この深度になった場合「DEPTH ALARM」アラームを鳴らします。
ダイビングポイント	(6.3 ダイビングポイント機能を参照)

6. GPS とコンパス

※この GPS 機能は、エントリーとエキジットポイントをマークし、オープンな環境でダイブサイトを案内するように設計されています。

※ 天候、遮蔽、環境などによって通信の妨害が起こります。100%位置設定が可能であることを保障するものではありません。

6.1. 使用手順

- (1) 信号を受信するには広くさえぎる物などがなく、電波塔など磁場の妨害のないところで行ってください。
- (2) 画面を上にし、覆われていないことを確認してください。
- (3) GPS の起動
「ダイブモード」にした後、「ダイブポイント」→「周辺のポイント」とすると衛星マークが点滅して表示されるのが見え、GPS が正しく作動していることを意味します。

注意点：初めて設定を行う場合は時間がかかります。通

おすすめ使い方ヒント：スマートフォンを使用して GPS 機能がより速やかに起動ができます。Atmos アプリ内の「あなたのデバイス」で GPS をタップしてください。必須ではありませんが、位置情報の設定時間が大幅に短くなります。

常は 3-5 分ぐらいです。

(4) 位置情報設定が完了 

完了後バイブレーションが作動し、マークは点滅しなくなります。

6.2. エントリーとエキジットポイントの記録

エントリーポイント

エントリーポイントは潜水前に標準画面に切り換えた際、ディスプレイ上方に GPS マークが点滅します。これは GPS の位置情報設定中であることを表示しており、設定完了後マークの点滅が停止します。この時に潜降するとエントリーポイントが記録されます。

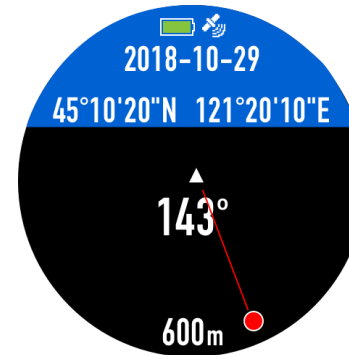
エキジットポイント

エキジットポイントは海面への浮上後ディスプレイ上方に GPS マークが表示されます。位置情報設定が終了しマークの点滅が停止した時、エキジットが記録されます。

6.3. ダイブポイント機能

ダイブ・フリー・ゲージモードの詳細設定において「ダイブポイント」機能が使用できます。

ダイブポイント機能



周辺のポイント：あなたの周囲のダイビングポイントを表示します。

追加：現在の GPS ポイントを記録。

マイリスト：追加したポイントを選択してナビゲーションを行う。

6.4. コンパスの補正

!!!コンパスは磁性に依拠していますので、電場や磁石、金属などに近づくと妨害を受けます。

!!!電子コンパスはサイズが小さいため、より容易に影響を受けます。着用する際はその他のダイブコンピューターや一般的なコンパスの影響を受けないようにし、また潜降する前に補正を行うことをお勧めします。

コンパスの補正：メニュー＞コンパス画面において、MISSION ONE を持って方位度数が出るまで 8 を描くように回し続けます。

7. メンテナンス及び保証

7.1. 保護フィルム

パッケージ内に保護フィルムが 2 枚入っています。MISSION ONE のガラス面を綺麗に拭き取た後に貼ってください。

7.2. ストラップ

MISSION ONE は幅 24mm のバンドに対応しており、使用するネジ規格は六角 1.5mm です。

7.3. メンテナンスと保管

しばらく使用しない場合は十分な充電の後に電源をお切りになり、衝撃を避けるためケースに入れ、温度差や湿気及び日光が当たらない風通しの良い涼しいところに保管してください。

7.4. アフターサービスと保証

限定保証

MISSION ONE には、設計および製造段階における製造上の欠陥および故障にすべて対応する 2 年間のグローバル保証が付属します。ATMOS は保証期間中、本限定保証の条件に従い、損傷や欠陥のある MISSION ONE を新品や修理品と交換、または修理いたします。修理サービスを受ける際は、正規代理店または ATMOS 本社へ問い合わせください。お客様ご自身でお持ち込みになるかまたはご自身で送料を負担してお送りいただく方式となり、製品と領収書のコピーまたは購入年月日を証明できるもののコピーを一緒にお送りください。保証有効期間内の修理の場合、部品費用と修理費用が発生しません。

以下のいずれか一つの問題または状況である場合、修理費用が発生します（保証対象外）：

- 1) 誤操作、無理な操作または不当な使用によってもたらされた故障
- 2) 火災またはその他自然災害によってもたらされた故障
- 3) ATMOS サービスセンターが行ったものではない修理または調整によりもたらされた故障
- 4) 保証対象は時計本体のみで電池やバンドなどの消耗品
- 5) 修理時に購入証明を提示されなかった場合
- 6) 保証期限を過ぎた場合

適用される強制法により許される最大限の範囲内において、本限定保証はお客様の唯一かつ排他的な救済手段であり、明示または黙示を問わず、すべての他の保証に代わるものです。ATMOS では、見込まれる便益の喪失、データの喪失、使用不能による損失、資本コスト、任意の 代替機器または施設に関する費用、第三者によるクレーム、製品の購入や利用、または保証違反による資産への損傷、契約違反、不注意、不正行為、または任

意の法理あるいは公理を含むがこれに限定されない特殊損害、偶発的損害、懲罰的損害または間接的損害については、ATMOS がかかる損傷の可能性を予期できていた場合であっても、その責任を負わないものとします。

ATMOS は保証サービスの提供における遅延において責任を負わないものとします。弊社製品にご質問等ございましたら、ATMOS または販売店にご連絡ください。

ATMOS 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

7.5. 製品仕様

基本仕様

名称	MISSION ONE
サイズ	50.5 x 50.5 x 18 mm
重量	90g
防水性能	10ATM・100m
ベゼル	ステンレス 316L
ガラス面	対傷性強化高透過ガラス
ケース	繊維強化ポリマー
ディスプレイタイプ	太陽光の下でも見やすい半透過 高解像度カラーディスプレイ
ディスプレイサイズ	直径 1.2 インチ (30.4 ミリ)

ディスプレイ解像度	240 x 240 画素
ボタン	ステンレス 316L
ベルト	24 mm幅ベルト
バッテリー寿命	スクーバモード(バックライトなし)：40 時間 スクーバダイビング(バックライト使用)：15 時間 腕時計での通常使用：15 日 スマート接続起動時：10 日
メモリ容量	ダイブログ 100 セット
言語	英語/ 中国語 (繁体字) / 中国語 (簡体字) / 韓国語/日本語
作動温度	+10° C ~ +45° C (氷点下の水温では使用しないことをお勧めします)

時計

時間/日付	✓
アラーム	✓
12/24 時間制	✓
オートライト	✓

センサー

GPS	✓
気圧計	✓
コンパス	✓
ジャイロスコープ	✓
加速度計	✓

温度計	✓
深度計	✓

スマートウェアラブル機能

無線接続	スマートフォンとのアプリ接続
プッシュ通知	✓
対応スマートフォン	iOS、Android
対応アプリ	ATMOS™ APP

潜水機能

作動最大深度	10ATM・100m
ダイブモード	酸素比率 21% ~ 40%

ウォッチモード	✓
フリーダイビングモード	✓
フリーダイビングタイマー	✓
減圧アルゴリズムモデル	Bühlmann ZHL-16c (保守性調整可能)
PPO2 酸素分圧限界	1.2-1.6
ダイビングモード自動切換	✓
浮上速度	✓
飛行機搭乗禁止時間	✓
水面休息时间	✓

潜水計画	✓
バックライト	✓ (三段階調整・潜水時自動点灯)
コンパス	✓
方位固定	✓
入水 GPS ポイントのセーブ・ロード	✓ (自動 / 手動)
GPS ポイントナビゲーション機能	✓ (水面や陸上のみ)
ダイビングモード切換深度の調整	✓
潜水終了時間の調整	✓
淡/塩水	✓

アラーム作動時	警告音、バイブレーション、 警告内容の表示
アラーム一覧	浮上速度違反・安全停止・ NDL の不足・減圧・減圧停止 の深度を超過・潜水時間・潜 深度・バッテリー残量低下・ 最大行動深度（MOD）・CNS

パッケージ内容

内容物	ATMOS MISSION ONE 本体、 シリコンベルト 充電ケーブル 傷・指紋防止保護フィルム*2 クイックスタートガイド 保証書
-----	--

➤ www.atmos.app

➤ info@atmos.app

➤ [FB:atmosocean](https://www.facebook.com/atmosocean)

